

第112号



輪中の郷 おたっしゃ通信

社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター
わじゅうの家 結い

〒498-0039
愛知県弥富市大藤町5番地3
TEL〈0567〉65-5531
FAX〈0567〉65-5536
E-mail info@yatominfukushikai.com
URL http://yatominfukushikai.com



新年のご挨拶

理事長 山田耕二

新年明けましておめでとうござ
います。

「輪中の郷」並びに「結い」の入居者様や、「ショートステイ」及び「デイサービス」の利用者様、またそのご家族様や、当法人関係者の皆様には、お揃いで清々しい、良いお正月（辰年）を、お迎えになられたことと、お慶び申し上げます。私も皆様方から、「良くやつてもらっています」とか、「これからも、よろしく頼みますよ」などの、励ましのお言葉や勇気を頂いてきました、ご支援のお蔭で、無事にお正月を迎えるました。

私は皆様に機会有る度、「健康は、富に勝る」とか、「人生最大の勝負は、健康で長生き」と、申し上げていることから、「重に」「何物にも勝る、有り難いこと」と、心から感謝いたしております。

しかしながら、足かけ5～6年ほど前から、流行し始めた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界中に猛威をふるわせ、有名人の他界が連続して報

じられ、ピーク時には、弥富市内でも感染者数と死亡者数が、毎日公表されていましたから「感染は死」という不安におとしました。

歴史に残る劣悪な感染症でした。治療は主因が不明でしたから、「原因療法」が出来なく、症状を抑える「対症療法」が、主流になっていました。予防策としたコロナワクチン7回接種は、過去に例がない接種回数です。

このような危機的社會現象になつてまいります前に、いち早く、伊藤敏弘本部長・伊藤公一施設長・感染防止プロジェクトチーム（特別編成班）は、海南病院専門医のご指導を受けて、当法人6か所の事業所では、利用者様と全職員は、たとえお一人様でも感染者を出してはいけないと、かなり神経を使って、万全の予防対策を講じてまいりました。今だから申し上げますが、当時は全員常時マスク着用、手袋、会話制限、会議人數制限、手指消毒、所内各所の徹底消毒、うがい等、張りつめた

緊張感で戦々恐々、涙ぐましい努力をしてきました。ところが、職員ご家族の勤務先や、ご子息の学校からの感染からか？で、大変残念ながら数名の方が、罹患されました。続けてきた感染防止対策の周知徹底の成果で、重篤者や集団感染（クラスター）等、大事に至らず胸をなでおろしています。

現在、感染は少し落ち着いてきてはいますが（2類から5類へ移行）、まだ完全に消滅しているわけではありません。これから迎けではございません。これから迎える厳寒期には、窓を閉め切つたりしますので、インフルエンザ（時ならぬブール熱が流行とか、医薬品不足も報じられています）との同時流行が心配されますから、免疫力や抵抗力が低い方（特に高齢者や、全身の筋肉量の少ない方）は、安心してはおられません。

さらには、2年ほど前から始まつた、ロシアによるウクライナへの侵攻から、我々の生活様式が、それまでの変わりようから、激しさを増して参りました。まさに「激変」と言つても、過言ではない現状表現です。そしてまた、直近ではイスラエルとハマス（パレスチナ・アラブ）の戦いは、子供や学校、病院を容赦なく無差別にミ

おたつしや通信

サイル攻撃して、双方2万人以上の死者(令和5年12月現在)が出ている状況はジエノサイド(大量殺人・集団虐殺)。まるで、地獄絵を見せつけられているようで、お気の毒を通り過ぎて悲惨過ぎる、もう筆舌には表せられません。驚くことには、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの戦いの他、世界の各地では、報道されていない戦争が幾つもあります。日本では今のところ、平穏には感じるものの、北方領土・竹島・尖閣諸島・そして台湾有事等、相手国の軍艦艦隊が、日本近海を偵察巡航していく、いつ勃発するか分からず、枕を高くして、安心してはいられない状況が有ります。

私も70数年前敗戦直後の、着物も食べる物も無い、焼け野原瓦礫の山。住むところが無い、貧しさのどん底を、体験していますから、無意識のうちにオーバーラップ(重なつて)してしまい、どうしてこんなにも醜い、非人道的な終わりの見えない、エンドレスな戦いをしなければならないのか、心が痛み悩みます。入居者様は年々、戦争体験者が少なくなっていますので、この悲しさの多くは語られないし、広がらないと思いますが、きっと心の中では、あの悲惨なひもじい状況は、もう

こりごりで、戦争はどんな理由があるうとも、「人類の破滅」になるだけだから、絶対にしてはならない事だと、感じておみえのことと想像しています。

先進国のリーダーの働きによつて、いくら歴史ある古い時代からの民族や宗教のからむ根深い戦争であっても、一日も早く停戦(ノーワンサイド、中止)平和)になるよう願うのみです。

追い打ちをかけるように、地球温暖化からか、世界各地に「熱波」や「干ばつ」・「森林火災」そして「大洪水」等、取り巻く悪状況は、次から次へとやってきています。日本では昨年夏、観測史上初の記録的猛暑が続きました。

「夏日」(25°C以上)・「真夏日」(30°C以上)・「猛暑日」(35°C以上)・「酷暑日」・「熱帯夜」(最低気温が25°C以下にならす寝苦しい夜)・「集中豪雨」・「記録的豪雨」・「ゲリラ豪雨」・「線状降水帯」(帶状降水帯と呼ばれた時もありました)・

このように書いてまいりますと、ネガティブ(消極的・否定的・暗い)の事柄が、次から次へと、休む暇なくこれでもかと、ダブルパンチの如く、押し寄せてまいりますが、この世で生きていく限りは、一つ一つの大波小波を乗り越えて、アクティビティ(活発・能動的・前向き)とか、ポジティブ(積極的・肯定的)な生活をして行くようになつてしましました。これららの現象は、「自然災害」から来るものではなく、どうやら「人災」の

ような気がしてなりません。防災対策をしっかりとお願ひしたいものです。

その影響からか我々の日常生活は、石油を始めエネルギー不足か、出し惜しみ、食料品流通不足から、インフレを招き生活必需品の値上げを招いて、人手不足や働き方改革等、消費者物価指数の高騰。当輪中の郷では食材費・光熱費・送迎用燃料費等の高騰が、これまでどおりのサービスが出来るかどうか? 関係者の頭を痛めています。また、昨年までご家族様とは時間や人数制限での面会、会社や学校でも画面を通してのリモート会議やリモート授業、マスクをしていて顔の表情が分からない、感情抜きの機械的、ロボット式会話になつてきています。

注文は、タブレット端末へのタッチ方式など、取り残されないようには必死で、常に「教わる態度」で、臨んでおります。取りあえずは、スマホやパソコンを、曲がりなりにも使いこなせるように、チャレンジしています。日常生活では、

①こまめに動く(歩数を増やす)
②手足を動かす(関節の可動領域を狭くさせない)ストレッチ
③新しいことに挑戦(脳に刺激)
④脳トレ(ボケ防止)認知機能低下防止)

等して、健康寿命を延ばしていく
たいものです。

今年令和6年を、どの様な年に
していくか、「一年の計は元旦に
あり」新しいページを、如何に素
晴らしい絵に仕上げていくは、そ
れぞの方の気の使いようで決ま
つてまいります。知恵を絞りなが
ら、「素晴らしい、良い年だった」
と振り返られるようにしたいもの
です。

最後になりましたが、海南病院
始め医療関係者様や、民生委員様
及びボランティア関係の皆様方、
そして当法人に関わってください
ます皆様方の、益々のご発展とご
多幸を、ご祈念申し上げまして、
新年のご挨拶とさせていただきま
す。

本年もどうぞよろしくお願いい
たします。



新春を迎えて

弥富市長 安藤正明

市民の皆様におかれましては、
希望に満ちた輝かしい新春を迎
られたことと、心からお慶び申し
上げます。

旧年中は市政全般にわたり、深
いご理解とご協力を賜り厚くお礼
申し上げます。

昨年を振り返りますと、3年以
上にわたり新型コロナウイルス感
染症の影響で、日常生活や地域活
動は厳しい状況が続いておりまし
たが、昨年5月の感染症の位置づ
けが2類相当から5類へ移行した
ことに伴い、徐々に日常を取り戻

し、活発化してまいりました。自
粛^肃から^ク活動へとモードを切り
替えながら、コロナ禍前の元気な
姿を取り戻そうと、市民の皆様、
各種機関や団体等がご努力をされ
てているおかげだと思います。

中でも、医療関係者や福祉関係者
の皆様の取り組み及びご協力に対
し、心から感謝を申し上げます。
昨今は、高齢化がさらに進行
し、高齢者の単身世帯や高齢者の
みの世帯が増加するほか、核家族
化の進行等によるライフスタイル
や価値観の変化等に伴い、より一
層、行政と地域の連携、支え合い
による介護や見守り、子育て支援
などが必要になっております。特
に、コロナ禍の影響により、日常
生活は大きく変化し、地域の交流
や人間関係の希薄化が進むとともに
に、生活不安やストレスの増大等
により、市民が抱える課題の複雑
化・複合化が懸念されるところで
あります。

そのような中、貴法人におかれ
ましては、地域に根ざした施設と
して30年以上事業を展開され、本
市の福祉向上に多大な貢献をして
いただいており、敬意を表すると
ともに感謝を申し上げます。
さて、本市の高齢者支援につき
ましては、現在、弥富市第9期介
護保険事業計画・高齢者福祉計画
の策定を進めているところであ
り、令和6年度からはこの計画に
基づき、「やとみ型地域包括ケア
システム」を深化・推進していく
とともに、地域共生社会の実現に
向け、地域の支え合いとともに、
すべての高齢者が住み慣れた地域
で安心して、生きがいをもち、活
き活きと暮らせるまちを目指して
各種取組を推進してまいります。
また、障がい者支援につきまし
ても、現在、弥富市障がい者計
画・第7期弥富市障がい福祉計
画・第3期弥富市障がい児福祉計



画の策定を進めているところであ
り、令和6年度からは、この計画
に基づき、関係機関や関係団体等
と連携し、障がいの有無にかかわ
らず、すべての方が安心して生
活できる環境づくりを推進してま
ります。

誰もが地域で活き活きと心豊か
に日常生活を送れるように、市民
の皆様や関係者の皆様とともによ
り一層連携を図りながら、さらなる
高齢福祉、障がい福祉の推進に
努めてまいりますので、ご理解と
ご協力を賜りますようお願い申し
上げます。

最後になりましたが、貴法人の
ますますのご発展と皆様方のご健
勝とご多幸を祈念し、新年のご挨
拶といたします。

入所者紹介

2024年(令和6年)1月1日

おたっしゃ通信

輪中の郷の新しい家族になられた方々を紹介します。



加藤正子さん



10月2日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。

10月2日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。元々生活に慣れています。

10月2日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。元々生活に慣れています。

となく元気にお過ごしください。
末永くよろしくお願ひします。

(瀧崎徹)

茂野紀恵さん



10月11日、けやき・くすのきほーむの住人になられました。

以前から、デイサービス・ショートステイをご利用になられていましたので、入所されてからも施設には慣れたご様子で、職員には笑顔で話しかけてくださいます。

また、すぐに仲の良い住人さんができ、楽しそうに会話されています。



北原悦子さん

これからより一層寒さが増してきますが、体調を崩すことなく元気に過ごせるよう、職員一同サポートさせて頂きますので、末永くよろしくお願ひします。

(小木曾翔一)

11月8日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。入所当初は、慣れない環境ということもあり、少し緊張した様子で過ごされました。しかし緊張もほぐれ今では、職員に声をかける姿もみられます。お話しの内容にもユーモアがあり、職員や他の住人さんを笑顔にさせてくださいます。

これからより一層寒さが増してきますが、体調を崩すことなく元気に過ごせるよう、職員一同サポートさせて頂きります。

水谷トキエさん



11月14日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。

入所当初から、まわりの住人さんや職員に話しかけて元気に過ごされています。まだまだこちらの生活には慣れずに、たまに不安その表情もみられますが、少しでも不安が減らせるようにサポートさせていただきます。

これからますます寒くなりますが、体調を崩さず元気にお過ごしください。

末永くよろしくお願ひします。



岡田努さん

にも慣れ、同じテーブルの方とお話しをされる光景がみられます。

104歳とご高齢ではあります

が、見た目はとても若々しく、年齢を感じさせない程、お元気に過ごされています。

これからより一層寒さが増してきますが、これからも若々しくお

元気に過ごせるよう、職員一同サポートさせて頂きますので、末永くよろしくお願ひします。

(小木曾翔一)

これからもたくさん声をかけて、返事をして頂けるように頑張っていきます。これからますます寒くなるので、体調を崩されるこ

となく元気にお過ごしください。
末永くよろしくお願ひします。

(後藤昇治)

11月10日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。

以前から、ショートステイのご利用があり、かかわりを持っていました。

これからますます寒くなりますが、体調を崩さず元気にお過ごしください。

末永くよろしくお願ひします。

(野井星香)

新入職員紹介



RIVERA JEANNIE ANN BOTE

(リベラ ジェニアン ボテ)

昨年10月より、輪中の郷で働かせていただいているります。

2010年

に、フィリピン

から介護の仕事をしにきました。

初めて日本に来たので、日本語が全くわかりませんでしたが、仕事をしながら日本語を勉強して、介護福祉士の国家試験を2015年に合格することができました。

しかし、日本語は難しくまだ沢山のわからない言葉がありますが、皆様がいつもやさしい日本語を使い、教えてくださるので分かりやすく本当に助かります。

私の夢は日本で子供と一緒に住む事でしたが、今はその夢は叶い本当に嬉しいです。

今後は、子供となお一層より良い生活を送りたいので、10年間介護の仕事をして色々経験をさせていただきましたが、もっと頑張ろうと思っていますので、よろしくお願ひします。

(輪中の郷
介護福祉士)



紅葉狩りに行つてきました

11月22日(水)、住人さん4名と船頭平公園へ行つてきました。

私は入職してから初めて住人さんと外出ができることに、とてもワクワクしていました。公園に着き周りを見渡すと、所々ではありましたが、きれいに紅葉していました。

住人さんから、「こんなきれいな所に連れてきてありがとうございます」「とてもうれしいわ」と、言つていただきとても嬉しくなりました。

コロナが蔓延していた時は、このように外出することができず、施設内でレクリエーションをしてきました。しかし、今回住人さんは、とても喜んでいたため、コロナも少しずつではあります、落ち着いてきていました。なので公園を散歩したり、外でレクリエーションをし

たりして、住人さんの思い出を一つでも多く作つていき、それが本人の楽しみになるようにしていきたいと思いました。

(足立大和)

野球大会 今年も一回戦で敗退

第27回愛知県老人福祉施設職員野球大会が、9月から10月にかけて16チーム参加で開幕しました。

一回戦は、春緑苑チームと平島

公園野球場(一宮市営球場)

にて9月12日、予備日19日に予定していましたが、両日ともグラウンドコンディションが悪く中止となり、9人のじょんけんで勝敗を決める方式をとり、結果5

ー4で勝利しました。

二回戦の相手は、過去2勝2敗ですが、最近は連敗しているチームです。試合は、初回からエラーがあり失点し、終始防戦一方の完封負けでした。

次回大会に向けては、新戦力に期待しつつ、守備力を強化し、「アレ」を目指します。

(平川幸士)



▲二回戦(10月10日 東海市平地公園野球場)

	一	二	三	四	五	六	七	計
むらさきベースボールクラブ	1	3	0	1	1	1	0	7
海部津島トリニティーズ	0	0	0	0	0	0	0	0



おやつレクリエーション

食生活向上室では、10月のハロウィンのイベントとして、住人さんとデイの利用者さんにおやつを提供しました。

住人さん ⇒ 南瓜プリンをお化けや南瓜の型にしてハロウィンにしました。

デイの ⇒ 普通食の方にクレープ生地を使用しチョコペンで目や口を書きお化け
利用者さん の様にしました。

刻み食の方は、南瓜プリンの上に南瓜の絵の型にココアパウダーを振りました。

住人さんの食べている姿を見ると、『うわあー凄い！』『また作って』などの声や、普段召し上がらない方が、『パクパク』と食べている姿を見ると、作って良かったと、私自身嬉しくなりました。

今までの手作りおやつでも、食べやすさの工夫などをする事がありましたが、引き続き皆さんに喜んで頂ける姿を見ることが出来る様に、イベントでのおやつ提供をしていきたいと思います。
(鳥居真帆)



わじゅうの家 結い

「自分らしく 安心して暮らせる場所」



当ホームは、自立に向けた第一歩として、生活していく上で、自分でできることは自らの力で行い、努力しても困難なことは支援を受けながら、入居者様をはじめとする多くの皆様と一緒に、「自分らしく安心して暮らせる場所」を築いている最中です。

共同生活を行うことで、ルールを守りながら入居者同士助け合い、時に家族のように、時に社会のようなコミュニティーの

【自立】

最初から他人に頼るのではなく、時間がかかっても自分でできることは、毎日コツコツ行うことでも、入居当時と比べると自分でできることがとても多くなりました。

今では、自然な動きすぎる故、元々出来なかつたこととは思えないほど生活習慣の一つとなつてきています。

中で、場面に応じた対応能力も育まれています。

しかし、他人と常に行動を共にすることが苦手な方もいらっしゃいます。そんな方は、自分の部屋で趣味を楽しみ、自分のペースで自分の時間を落ち着いて過ごされている方もいらっしゃいます。

「自分らしく」 「助け合い」

入居者同士、互いの距離感を見つけ、助け合う気持ち・教わる姿勢も芽生えているようです。

【洗濯干し】

決して上手に干す必要はなく、自分なりに干して衣類が乾けばよいのです!!

●洗濯干し

時間がかかるとも怠ぐ必要はありません!!

指先や身体全体を動かすことでも、運動機能維持や向上に繋がります!!

洗濯干しが大好きな方は、お手伝いを行い、必要とされることで充実した生活を送ることもできます!!

お世話上手な方は、一人で困っている方を気長に見守り、時々指示を出したり、補助をされたりと、職員顔負けの役割を担つてくれます。



ださる方も出てきました!! 洗濯干し一つの中にも、「自立」「助け合い」「自分らしく」がいっぱいです。

冒頭に、「最中です」と申し上げたのは、「わじゅうの家結い」は常に進化しております。2023年も入居者様の持つ潜在能力に驚かされっぱなしでした。

まだ見ぬ可能性で今後どのような「family」になっていくのか?

2024年も「結い」を一緒に盛り上げていきましょう!

元気は宝物 健康コラム

今どのような姿勢で、この文章を読まれているでしょうか？猫背のように身体が曲がった状態ではないですか？

正しくな

い姿勢を続

けている

と、身体に

色々な影響

が出てしま

うのです。

腰痛や消化不良にも繋がります。また、関係ないと思われがちですが、お口にも影響が出ています。

猫背でいると口呼吸になりがちで、唾液が減り口腔内が乾燥し、唾液の中に含まれる抗菌作用等が減ることで、虫歯・歯周病にもなりやすく、悪い姿勢は歯並びにも影響します。歯並びが悪いと、立つ・歩く・力を入れる等に欠かせない歯が上手く噛み合わず、しつかり揃っている人と揃っていない人との差は、転倒リスクにとてもあります。日々の正



ましよう。良い姿勢で健康にお過ごしください。

(鳥津亜海)

しい姿勢が、大切な歯を守る一歩になります。

気づいた時にぐっと背中を伸ばしてみ



デイサービスセンター 輪中の郷

「運動会」



10月10日といえば、以前は「体育の日」。今年は、おもいつきり声を出しての運動会が出来ました。

題して「うれし！ 楽し！ プチ運動会」利用者様に選手宣誓をして頂き、赤白対抗応援合戦を行いました。

応援団長は職員。白組は学ラン姿、赤組はフラガール姿で登場すると、ウォーと歓声があがり鳴り物を手に、気合いの入った応援合戦でした。

次は、鈴玉割りです。鈴玉めがけ、頑張って玉を投げられ、



赤組白組の皆様、頑張って頂きありがとうございました。

来年も、行えるといいですね。

(角田由美)

当たって笑顔！ 外れても笑顔！ 割れた時には本当に楽しそうでした。

そして、恒例のパン食い競争は、歩ける方も車椅子で自走して頂きました。皆様、遠慮しがちに始まりましたが、パンを目の前にすると、やはり手が出てしまう方もチラホラ

と…でも、口に入つたところ、とてもうれしそうな顔で、「ハイ！ チーズ」と写真に納まり、楽しい時間を共有できましたか

と思います。

「秋の運動会」

10月25日(水)、天気の良い絶好の運動日和に、運動会が開催されました。

種目は、箸でパンをとるパンとり競争です。

パンまでは、独歩の方・車椅子の方・職員が付き添い歩行される方など様々でしたが、どちらも素敵な笑顔になり、とても盛り上ぎました。



弥富市デイサービスセンター



パンまでは、独歩の方・車椅子の方・職員が付き添い歩行される方など様々でしたが、どちらも素敵な笑顔になり、とても盛り上ぎました。

今後も集団体操やレクリエーションを通して健康の維持増進を図り、次回のイベントも元気に参加して頂けるよう努めたいと思います。(原田妙子)

「カラオケ同好会」

コロナ禍で出来なかつた外部交流会が11月13日(月)、実に4年ぶりに開催されました。

当日は久しぶりの慰間に、利用者の皆さんもとても楽しみにされていて、同好会の方々が登場すると「待つてました!」とばかり、キレイなドレスや着物姿に笑顔と拍手が起こりました。

馴染みのある歌の披露に、手拍子で樂しまれる方や、普段あまり声を出されない方も大きなり声で合いの手を入れたり、自らマイクを持ち熱唱される方など、樂しみ方も様々です。

今回の慰問を通じて、外部の



方と関わることでまた違った楽しみ方が増え、それが刺激となり利用者の皆様の元気に繋がることを実感しました。

今後もより活動内容を工夫し、皆様に満足して頂けるようにしていきたいと思います。

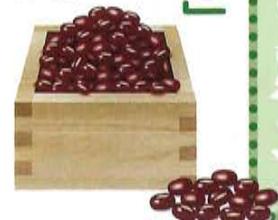
(滝川梨詠)

弥富市南デイサービスセンター



台所の薬草

「あづき」



マメ科ササゲ属アズキ豆属の一年草で、食用にするのは種子の部分です。白小豆と赤小豆があり、一般的に食べられているのは赤小豆です。白小豆は希少なため、白あんの高級材料として使用されます。

一般的な赤小豆について、昔から小豆の赤色は邪気を払い厄除けの力があるとされ、吉凶共に様々な行事に用いられてきました。

9月1日～11月30日
ご寄付ありがとうございました

- ・伊藤奈千代さん 八十五歳 令和五年九月二十二日
- ・伊藤登志子さん 八十三歳 令和五年十月八日
- ・野村ミさん 八十六歳 令和五年十月十一日
- ・立山和恵さん 九十八歳 令和五年十一月一日
- ・古賀スガエさん 八十六歳 令和五年十一月三日
- ・伊藤節子さん 九十五歳 令和五年十一月四日
- ・皆さんのご冥福をお祈りいたします。

九十五歳
九十八歳
八十六歳
八十六歳
九十五歳
九十五歳



亡くなられた方々

・伊藤奈千代さん 八十五歳

令和五年九月二十二日

・伊藤登志子さん 八十三歳

令和五年十月八日

・野村ミさん 八十六歳

令和五年十月十一日

・立山和恵さん 九十八歳

令和五年十一月一日

・古賀スガエさん 八十六歳

令和五年十一月三日

・伊藤節子さん 九十五歳

令和五年十一月四日

・皆さんのご冥福をお祈りいたします。

AEDを寄贈していただきました



編集後記

一般社団法人 荒川磯慈善会様による令和5年度福祉施設助成事業に応募し、AED及びスタンド各1台を頂きました。

輪中の郷の玄関に設置し、「いざ」という時のために、備えさせていただきます。

荒川磯慈善会様ありがとうございました。

明けましておめでとうございました。

昨年から新型コロナウイルスの位置付けが5類感染症となり、少しずつコロナ前の生活に戻りつつあります。住人さんのご家族との面会が以前のように出来、嬉しい限りです。

さて、寒い日が続いていますが、秋は駆け足のように去っていき、冬があつという間に到来してしまいました。そうかと思えば季節はずれの暖かい日があつたりして、地球温暖化の影響なのか、日本の四季が年々失われつつあるのを寂しく感じます。

今年はどんな一年になるのでしょうか？季節の移り変わりを楽しめる一年になるといいですね。皆さんにとって、新しい年が幸多きものとなります事をお祈り申し上げます。

その四季の中で私が一番好きな季節は、夏の終わりの夕暮れです。残暑の生暖かい風が吹く中、日が沈んでいるのに薄明るく昼

が沈んでいます。本年もよろしくお願ひいたします。
(梁取)

お正月に始まり鏡開きなどの行事食や年度替わりまで、小豆を使つた料理を目にすることが多くなりますが、薬膳に用いられるほど栄養豊富な食材であることを、頭の片隅にでも思い出して頂けると幸いです。

(星野芳江)